

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ3	出席委員数	7 / 7 名
日 時	平成27年7月24日（金）9時30分～11時 15分		
場 所	役場 第2会議室		
【協議事項】（テーマ等）			
《子ども会について》 - 子ども会に加入しなかったり、途中で退会したりする家庭が増えている。 - そのため、子ども会によっては子どもの数が少なく、地域における異年齢の子どもたちとの交流・遊びや情報共有が十分にできないのではないかな。 - 催しの内容によっては合同で実施するなどしたほうがより充実した子ども会活動になるのではないかな。 - 逆に子どもの数が多く地区公民館では手狭な場合、婦人の家や青少年ホームを利用することも可能かな？ →可能。ただし時期によっては空きが少ないため注意が必要。			
《北小・西小の統廃合について》 - 西小を北小に統合する場合22教室必要だが、北小にはそれだけの空き教室がない。（少人数指導の教室、教材室、プレイルームなど、空いている部屋はない。） - 上記、教室数不足解消のために北小と南小の校区を変更することは可能かな。 →通学における安全性などを考慮すると、同一自治会内で異なる校区になりうるため、自治会を交えての検討が必要。			
《学童保育について》 - 北小、南小は定員（50名）を超過して受け入れている。また、西小は定員（45名）枠内ではあるが、特に支援の必要な児童が在籍しているため、指導に余裕のない状況を説明。 - 受入枠増加の方策案 - 北小体育館2階の空き部屋の活用→狭隘等課題有 - 生涯学習センターの活用→施設利用の需要があり恒常的な利用は困難 - 庁舎跡地利用→跡地利用の中で検討 - 学童保育の状況や子ども館の夏休みの預かり制度などの情報が不十分なため、ホームページなど周知方法を改善してほしい。			

- ・ 学童保育への携帯ゲーム機持込は不適切ではないか。
→元々は保護者の意向で持ち込めるようになった。学童保育は保護者と行政が協働で運営するものである旨を説明。
- ・ 指導員の不足について
保育士や教員免許保持者の人材バンクがないのなら、募集の仕方を工夫してはどうか？老人クラブをはじめ、コミュニティ団体に呼びかけたり、チラシを町内の商店や金融機関に掲示してもらうなどの方法が考えられる。
- ・ 授業後に、その教室でわからなかったことや宿題を片づけてから、ちょっと外で遊んで帰るという姿が理想的ではないか

《多世代交流施設について》

名古屋市緑区で生協が総合病院を建て直したときに多世代交流施設を併設した。良い参考事例なので、庁舎跡地利用に検討してはどうか。

- ※ 高齢者と児童の交流の場として利用
- ※ 学童保育を移設し、アフタースクールと組み合わせる
- ※ アフタースクールの一例としてそろばん塾など。
- ※ アフタースクールの指導者は高齢者を中心に登用する
 - ・ 教員OBや婦人会の方々、地域の方々などで勉強会を開催して、そういった場面での登用ができるとよいのではないか
 - ・ 年代を超えたつながりができるのはうれしい（子どもと母親と異年代の方）」

《その他》

- ・ 北方中学校の悪い評判を聞くことがある。どのような状況か問う。
→数年前に一部の生徒が荒れていたことがあったが、現在は落ち着いている旨を説明。
- ・ 自治会未加入者問題
→未加入でも自治会のごみ集積場にごみは出せる。一方で役員をやらなくてもよい。自治会加入のメリットが弱いのではないか。

一回開催予定日ー

平成27年8月28日（金）9：30～

みなみ子ども館

※発言順にこだわらず対応する意見については、まとめて下さい。

発言者名は未記入をお願いします。